

尚志「勝ち続ける」 全国高校サッカー 仲間のため決めた

3年ぶりの全国の舞台で選手が躍動した。31日に行われた全国高校サッカー選手権大会一回戦。本県代表の尚志は広島県代表の広島皆実（みなみ）を破り、初戦を突破した。チーム丸となった守備で相手の攻撃をかわすと、後半に2得点を奪って快勝し、スタンドに詰め掛けた大勢の応援団を沸かせた。

頭で宙に浮かせたボールがネットを揺らすと、DF佐藤誉晃選手（3年、沢田中卒）は天に人さし指を高々と掲げた。「仲間や家族への感謝のゴール。決められてうれしい」と頬を紅潮させた。

仲間のためにゴールを決めたかった。エースのFW林純平選手（3年、千葉・東金中卒）が試合2日前に左足を負傷した。先発出場したが、万全の状態ではなく前半27分に退いた。佐藤選手も9月に右足を痛め、約1カ月間戦列から離れた経験があり、思うようにプレーできない苦しみは痛いほど分かった。「おまえならできるぞ、頼む」。林選手から声を掛けられ、力がみなぎった。

183センチの大柄な体を躍動させ、ピッチを駆け巡った。「純平のけがが治るまで勝ち続ける」と言葉に力を込めた。

（2015/01/01 09:25 | カテゴリー：主要）



【尚志-広島皆実】後半29分、先制のゴールを決めた佐藤選手（右から3人目）を囲み、喜び合う尚志イレブン